

予算の1%を超える二十数億円となる。伝統芸能については、担い手の自主的な活動を支援する立場で連携を図り、演劇その他の分野では、市民の自由な文化活動を支え、文化的息吹が地域や産業が活性化する政策の推進を考えている。

本市の狂牛病対策

問 国内での狂牛病発見以来、牛肉消費の落ち込みが激しいが本市での風評被害の状況は関係業者等への救済策は。

答 売り上げが前年比二〇〜三〇%減少しているが、本市は全国に先駆けDNA検査による流通時の安全確認を行っており、売り上げは回復すると考えている。生産者への大家畜経営維持資金等の活用、関連業者への市融資制度の利用相談、別枠融資適用への迅速な認定や経営・融資相談会等を行っている。

市民ネット

政策決定過程への

市民参画を拡大

問 市民と行政との真のパートナーシップ構築に向け、政策決定過程への市民誰もが参画で

きる仕組みづくりを。

答 政策決定には、市民が参加した実績が重要だ。男女共同参画の条例づくりで、非常に高いレベルの市民参画が行われたことを高く評価し、今後も拡大したい。また、公平性の観点から、電子町内会の拡大が重要な民主主義のツールになると考えており、今後、認証技術を背景にシステムの対応を拡大したい。

おかやま桃太郎荘

民間再委託へ

問 外郭団体の見直しにより、赤字経営が続く国民宿舍おかやま桃太郎荘が民間へ再委託されるが、プロポーザル募集の状況



民間の力で経営改善へ。おかやま桃太郎荘

は市の投資は成否の判断基準は。

答 現時点で十一社一団体が意欲を示している。短期償却が可能で収入増が確実な改善策に限定したい。ソフト面での改善で黒字経営に転換し、市の負担増につながらないことが判断基準の一つになる。

駅のバリアフリー化推進を

問 通称「交通バリアフリー法」の適用を受ける市内六駅の優先順位と本市の対応は。

答 岡山駅は、総合的な駅舎改修の議論の中で解決が図られると考えている。その次に西大寺駅の優先度が高いと判断しており、平成14年度のバリアフリー化実施をJR西日本等の関係機関に要望している。

公民館・農協にも

市民サービス窓口を設置

問 郵便局に加え、公民館等に市民サービス窓口を設置し、市民の利便性を高めては。

答 郵便局への窓口設置は、市民の利便性向上や市のコスト軽減だけでなく、郵政側に新たな需要を生むことになる。今後、公民館や農協へも利用時間帯等を工夫しながら、同時期に同様の窓口設置を進めていきたい。

新風会

都心居住促進に

小学校跡地を活用

問 都心居住の促進を図るに当たり、対象とする年齢層は小学校統廃合との関連づけは。

答 三十歳から四十歳代の子どもを産み育てる働き盛りの世代と安心した老後を都心で過ごしたい世代を考えている。小学校の適正規模にはまだ余裕があり、統廃合後の跡地を都心居住の観点から活用したい。現在、都心の空きエリアには、二万人が広い住環境の中で居住できるとの調査結果が出ており、これを目標としている。

児童クラブ

認可条件緩和へ

問 児童クラブの現行二十人以上の認可条件を緩和すべきでは、認識と今後の方針は。

答 平成14年度に二十人以上のクラブが設置を完了する見込みから、15年度以降は十人以上を条件としたい。非常に重要な施策だが、発展途上と認識している。今後、一学区での複数設置、小学校以外の施設の活用、担い手の問題等を含め、大きな



児童クラブ～今後の充実に向けて

政策分野と位置づけ、多方面から検討していきたい。

西部地区のまちづくり

地区計画導入へ

問 操車場跡地を中心とした西部地区のまちづくりに、景観形成を図る観点から、都市計画法上の規制策を取り入れては。

答 市民と協働で建築物の用途や高さなどの制限を細かく定める地区計画制度を、用途地域見直しとあわせて導入し、新拠点にふさわしい魅力ある街並みの実現を図りたい。また、新駅北地区は、今後、土地区画整理事業実施の確定段階で市街化区域に編入し、用途地域を定め、あわせて地区計画を定めたい。